

申立書附票(1) 《申立人照会書》

1 申立ての目的（複数回答可）

- 財産・預貯金の管理
- 遺産分割
- 生命保険金などの受領
- 財産の整理・処分
- 借入（担保設定・ローン契約などを含む）
- 施設入所または福祉サービスの契約のため
- 裁判所の手続き（調停・訴訟など）のため
- その他

2 家庭裁判所の利用経験

- ない
- ある：時 期：昭和・平成 年 月 頃
取扱家庭裁判所： 家庭裁判所 支部・出張所
事 件 番 号： 昭和・平成 年（家 ） 第 号
事 件 名：

3 本人の身近な親族（本人照会書の3）には、この申立てを知らせていますか

- 知らせている
 - 申立てどおりの審判がされることに賛成している（同意書 あり なし）
 - 次の者は、申立てどおりの審判がされることに反対している。.....
- 知らせていない
理由

4 今、特に困っていることや、家庭裁判所に注意して欲しいことなど

.....
.....
.....

5 申立人と、平日の昼間に確実に連絡ができる連絡先（携帯電話、勤務先）、時間帯

.....
.....
.....

上記のとおり回答します。 平成 年 月 日 氏名

申立書附票(2) 《本人照会書》

- 1 本人の現況（入院先病院名・病室番号，入所施設名，在宅の場合の住所地など）

名 称： 電話

所在地：〒

最寄駅等： 線 駅下車 徒歩・バス（ 行き 停留所） 分

- 2 経歴（最終学歴，職歴，結婚，出産など）

年 月	経 歴	年 月	経 歴
年 月	卒業(最終学歴)	年 月	
年 月		年 月	
年 月		年 月	

- 3 身近な親族(本人の子ども，配偶者，親，きょうだいなど推定相続人→申立ての手引P14参照)

続柄	氏 名	年齢	郵便番号，住所	電話番号
			〒	
			〒	
			〒	
			〒	
			〒	

- 4 鑑定医候補者（※補助開始の場合は，記入不要）

鑑定医は，診断書・診断書附票を作成した医師です。

その他

氏 名：

専 門：精神科 神経科 脳神経外科 内科 その他(.....)

病 院 名：

所 在 地： 電話：

鑑定費用： 円 鑑定期間：

- 5 本人の病歴（診断名，発症時期，受診時期，通院歴など）と現在の容態

.....

.....

.....

.....

要支援・介護区分 1・2・3・4・5 本人との意思疎通 可能 不可能

- 6 経済状況・・・別紙財産目録のとおり

現在本人の財産を管理している者 申立人

後見人（保佐人，補助人）候補者

.....

上記のとおり回答します。 平成 年 月 日 氏名

申立書附票(3) 《後見人等候補者照会書》

1 後見人（保佐人，補助人）候補者

氏 名： _____
 住 所：〒 _____ 電 話 () _____
 職 業： _____ 勤務先 _____

2 横浜家庭裁判所での後見人等の経験の有無

ない
 ある：平成 _____ 年（家）第 _____ 号 被後見人等氏名 _____

3 略歴

年 月	経歴（学歴・職歴）	年 月	経歴（学歴・職歴）
年 月	卒業（最終学歴）	年 月	
年 月		年 月	
年 月		年 月	
年 月		年 月	

4 家族構成（同居家族の続柄，氏名，年齢，職業・学籍など）

続柄	氏 名	年 齢	職業・学籍（勤務先・学校名）	備 考

5 現在の健康状態

健康 その他 _____

6 経済状況

(1) 収入： なし / あり 月収・年収 約 _____ 万円

(2) 財産：（所有している不動産，預貯金，株式など）

(3) 負債： なし / あり 借入先 _____ 借入額 約 _____ 万円
 借入目的 _____

7 後見（保佐，補助）の方針，計画（財産管理や今後の生活の拠点，定期的な面会等についてご記入ください。）

現状維持
 以下の予定あり _____

8 今後，本人のために多額の出費や不動産の処分等を予定している場合や，財産管理上心配なことがある場合には，その内容と理由を記入してください。

上記のとおり回答します。 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 氏名 _____